

書ける 受かる! 小論文

長所・短所型と分析型を使い分け

Q 段落の構成でいつも悩みます。「起承転結」がいいですか? それとも「序論・本論・結論」がいいですか?

今回は小論文の「王道」ともいえるパターンを二つ紹介しよう。小論文の出題が大きく2種類に分類されるからだ。

出題のテーマが「賛成」「反対」など、意見や主張が二つにわかれる場合、双方に等しく耳を傾けるような段落構成が適している。

①メリット(テーマに対する賛成派の主張)
②デメリット(テーマに対する反対派の意見)
③解決策(どちらも納得できるようなアイデア)

一方、「新型コロナウイルスの感染拡大について、あなたの考えを述べなさい」という出題ならどうだろうか。感染拡大に「賛成」という人はいるはずがない。だれ

【解説】鈴木鋭智 東北大学大学院文学研究科修士課程修了。著書は『何を書けばいいかわからない人のための小論文のオキテ55』(KADOKAWA)ほか。CSS公務員セミナー顧問講師

もが感染拡大に「反対」する。

このように、だれが考えても一つの方向に集約されるようなテーマの場合、問題点を深く分析して解決策を導き出そう。

【原因分析型】
①問題提起(だれが、どのように困っているのか)
②原因分析(なぜ、そのような状況にあるのか。なぜ改善できずにいるのか)
③解決策(だれが、何をすべきか)

小論文の出題には「賛成・反対」に割れるテーマと「だれが見て

も問題であるテーマ」がある。課題文や設問をよく読み、「メリット・デメリット型」「原因分析型」のどちらを使うのが、より適切であるかを臨機応変に判断しよう。

三段構成の展開が鉄則

段落構成といえば「起承転結」がよく知られている。小説やエッセーで用いられやすい書き方だ。

【起承転結の一例】
【起】「朝起きたら、異世界に転生していた」
【承】「お姫さまや師匠に出会い、修行の旅に出る」
【転】「強敵の出現や仲間の裏切り、そして意外な黒幕」
【結】「敵を倒して封印を解き現実世界に戻る」

「転」の部分で、読み手をドキドキ、ハラハラさせるのがポイント。でも、小論文では採点者をドキドキ、ハラハラさせる必要はまったくない。

おすすめは三段階での構成。「序論・本論・結論」が知られているけれど、この手法は使い方を誤る人が多い。

【序論・本論・結論の失敗例】
①序論—これから論じることを手短かに紹介する。
②本論—序論で述べたことをくわしく説明する。
③結論—本論で述べたことを短くまとめる。

「あれ? 同じことを3回書いてる気がする」という経験をした中高生は少なくないはず。まさに「小論文あるある」だ。なぜ、こうしたことが起こるのか。それは結論を「まとめ」と考えているからだ。「結論は解決策を提案する」のが小論文の鉄則。ポイントは次回以降に解説しよう。



イラスト・みわまさよ

高校入試 合格ごとき

定期テスト 2週間前から計画的に対策

「そろそろ定期テストが近づいてきた」という中3のみなさんもいるでしょうか。高校受験では、内申点(調査書)が合否を左右する入試が少なくありません。定期テストの結果は内申点に結びつくのでベストを尽くしてください。高得点をめざす場合、テストがはじまる2週間前から計画的に試験勉強に取り組むのがいいですね。

◆2週間前～1週間前

苦手な教科に重点的に取り組みます。数学や理科、英語の文法など正答を導くための道筋について理解を深める必要がある教科や分野ははやくに取りかかりましょう。教科書やノートを読み返したり、まとめ直したりするのが効果的。定期テストの前後に提出するように求められているプリント類などがあれば、この時期に終わらせておきます。

◆1週間前～2日前

問題の演習や暗記事項の確認が勉強の中心になります。まちがえた部分にふせんを貼ったり、チェックの印をつけたりして、直前の時期に見直しができるようにしておきます。

知識事項が定着しているかどうかを確認するには、単語カードや色つきのシートなどを活用します。国語の場合は教科書の下の部分や章末にある問いの答えをつくったり、授業の板書をもとに予想問題を考えたりするといいですね。漢字や語句の意味を確認するのも忘れずに。

やや複雑な内容を勉強するときは「エア授業」をおすすめします。理解した内容をだれかに教えるような感じで声に出して説明してみましよう。また、わからないことがあれば先生に質問するなど、この時期までにクリアにしておきます。

【解説】吉田裕子
Gnoble 国語講師。三重県立四日市高校、東京大学教養学部卒。監修に『伝える力がレベルUP【ハピかわ】ことばのルール』(池田書店)など。



イラスト・ムーグラフィック

◆前日～テスト期間

これまで勉強してきた内容を一通り見直すことで、知識事項の定着ぐあいや理解の度合いを最終的に確認します。特にふせんを貼ったり、印をつけたりした部分については重点的に取り組みましょう。英語や国語の場合、文章を音読してみると、意味があやふやな単語など「穴」を見つけやすくなります。

また、実際に定期テストがスタートしても、同じような勉強に取り組んだうえで次の日の試験に臨んでください。

客観的な視点を導入

定期テストの点数を安定させるために「複数の視点を入れる」というアプローチがあります。

完璧に仕上げたつもりでも、思わぬ見落としや勘違いをしていることがあります。どうすれば気がつけるでしょうか。ふだん使っている教材とは別の問題集などを利用してみるのが一つの方法。いつもとは異なる角度から問われたときに正解を導けなければ、基本にもどってもう一度、補強しましょう。